

相馬福島道路(霊山道路)  
七ツ窪トンネル(仮称)の貫通式のお知らせ  
～霊山道路の中で最長のトンネル貫通～

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。この度、掘削を進めておりました「七ツ窪トンネル(仮称)」(延長1,404m)が貫通を迎えたことから、下記により貫通式を執り行います。なお、本トンネルの貫通は霊山道路に計画しているトンネル7本のうち5本目で、霊山道路の中で最長のトンネルが貫通したことになります。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

- 日時：平成27年11月13日(金) 10:50～
- 場所：福島県伊達市霊山町石田地内 【別紙1参照】  
(七ツ窪トンネル内)
- 主催：飛鳥建設株式会社 東北支店
- 内容：貫通報告、貫通点清めの儀、貫通握手の義、ほか 【別紙2参照】
- 七ツ窪トンネル(仮称)の概要  
延長：1,404m  
幅員：12.0m(1.75+3.5+1.5+3.5+1.75)  
車線数：2車線  
工事期間：平成25年2月13日～平成28年5月末(予定)  
掘削工法：NATM(発破掘削)工法  
施工者：飛鳥建設株式会社 東北支店

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

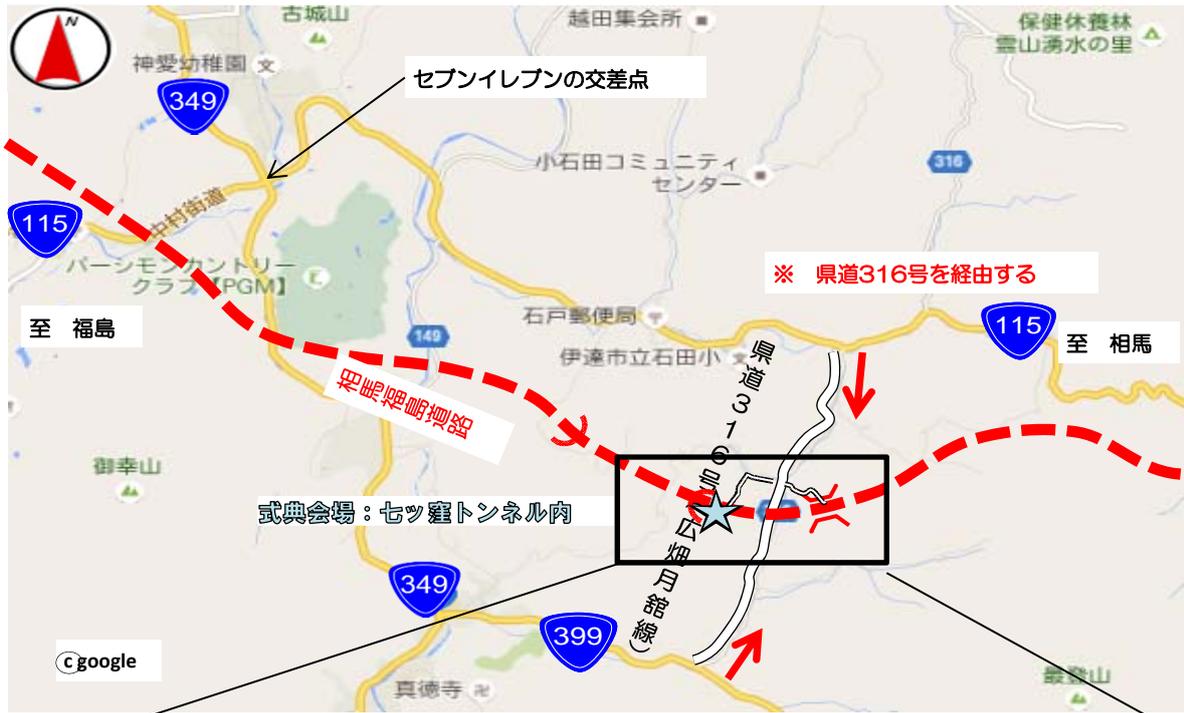
《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)  
副所長 赤坂 浩 (内線205)  
工務第二課長 小山田 桂夫 (内線411)

《式典に関すること》

飛鳥建設(株)東北支店 霊山道路トンネル作業所 電話 024-563-1967  
現場代理人 寺島 佳宏

# 貫通式典会場案内図



## (仮称)七ッ窪トンネル貫通式典

日時：平成27年11月13日(金)  
10:50～

会場：福島県伊達市霊山町石田地内  
七ッ窪トンネル坑内

主催：飛島建設株式会社東北支店

### 次 第

- 一、開式
- 一、貫通・くす玉開披（石田小学校児童）
- 一、貫通点清めの儀
- 一、貫通握手の儀
- 一、発注者挨拶
- 一、来賓祝辞
- 一、鏡開きの義
- 一、乾杯
- 一、祝い歌（石田小学校児童）
- 一、施工者謝辞
- 一、万歳三唱
- 一、閉式

# 【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙3

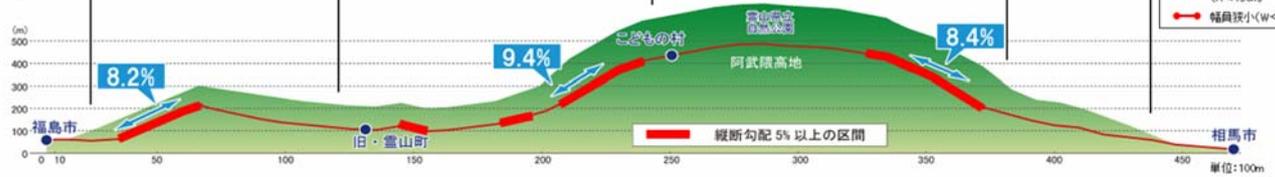
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

## 【平面図】



## 【縦断面図】

国道115号



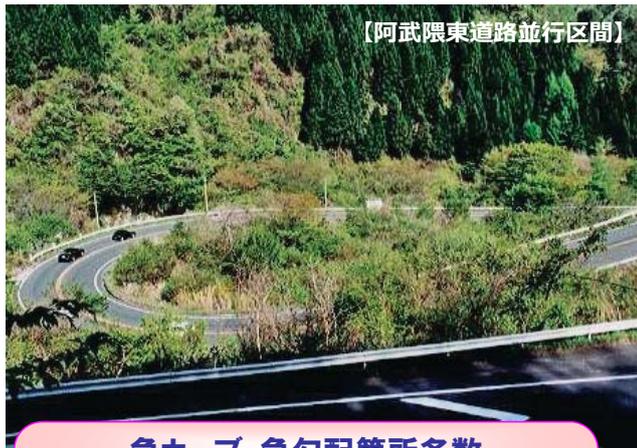
## 国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



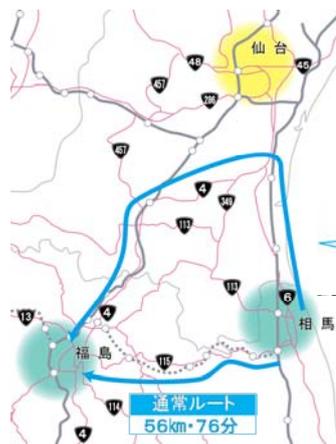
沿線住民の安全な生活に支障

# メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

# メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



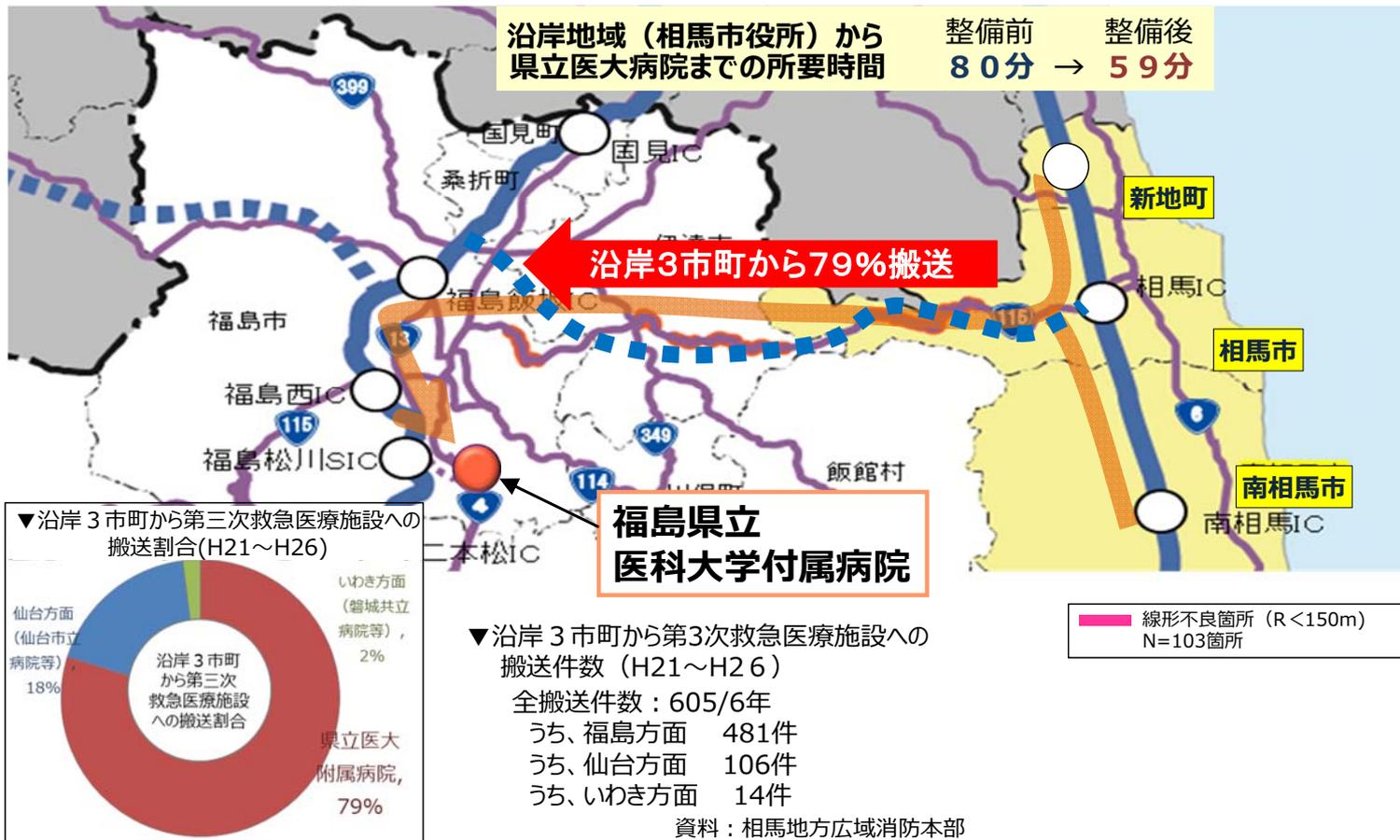
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- ▲ 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- × 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

## メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



## メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

### 《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t  
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港